



CSRレポート 2021

こうち生協とは



健康と子どもたちの未来のために

こうち生協は組合員さんと地域のみなさんと共に
よりよい暮らしを育んでいきます。

くらし、よりよく、力あわせて

生協(せいきょう)とは「生活協同組合」のことで、私たち消費者がくらしのなかで生まれる共通の願いを実現するために手を取り合って自ら運営していく組織です。安全安心な食とくらしを求め、組合員一人ひとりが「出資」「利用」「運営」に参加することで支えられています。

生協は営利を目的とせず、人と人の結びつきにより、よりよいくらしを実現することをめざしています。

こうち生協がめざしているもの

基本理念

健康と子どもたちの未来のために

- 人間らしい豊かなくらしの創造、よりよい環境と平和をめざします
- 地域住民のくらしと健康を守り、住みよい地域社会づくりをめざします
- 協同の輪を広げ、県民の多数が参加する組織をめざします
- 地場生産者と手を取り合い、安心・安全なコープ商品の開発をすすめます
- 地域のさまざまな団体、商工業者のみなさんとともに「協力・協同」を強め、明るい町づくりの取り組みをすすめます
- 継続発展できる経営基盤の確立と人材育成をめざします

1985年11月18日、こうち生協は2,013人の組合員によって立ち上がりました。すこやかな未来とよりよいくらしのためにお互いに支え合い、理想を実現しようと集まった組合員は高知県全域で10万人を超え、その輪はますます広がっています。

目次

- 1 こうち生協とは
- 2 目次
- 3 ごあいさつ
- 4 特集
- 6 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します
- 11 持続可能な社会づくりをめざします
- 13 健康づくりの取り組みを広げ、助け合い活動を進めます
- 14 平和な社会をめざす取り組みを進めます
- 15 地球温暖化防止対策を推進します
- 16 多様な人々が共生できる社会づくりを推進します
- 17 組織の概況について

編集方針

この報告書は、こうち生協が取り組んでいる社会的責任・社会的役割に関する活動を報告するものです。この中では、国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」と関わりのある事業や活動の事例にアイコンを掲載しています。



対象期間

2020年度の事業・活動を報告しています。

ごあいさつ

昨年2020年は、地域とのかかわり方、環境や社会問題に対するかかわり方に大きな変化が生まれた一年となりました。7月よりスタートした「レジ袋の有料化」は、組合員さんのマイバック持参率を引き上げることになりました。「環境を考えてマイバックを持っています」「少しでもプラスチックのゴミが減らすことになったらいい」という声が聞こえてきました。

また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大以降、地元高知県産の商品の利用が増え続けました。これは、「自分たちが買うことで、地域の生産者やメーカーさんの暮らしを支えていきたい」「高知で共に暮らす人たちの役に立ちたい」そんな思いで商品を利用している人が増えたからだと思います。

地球温暖化が主要因とされる自然災害や、全世界で流行し普段の暮らしを一変させた新型コロナウイルス感染症が、「誰か」や「どこかの国だけ」では、持続可能な世界・社会を実現することはできないということを警告しているように思います。そういった意味では、2015年に国連総会で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」を自分たちの行動と重ね合わせて、一人一人が生活者としてできることを具体的にしていけることが求められていると思います。

『私の暮らしは地域とつながっている、世界へ地球へとつながっている』そんな、小さな想いを持った行動が、自分たちの暮らしを変えていこうとしています。

今回の「こうち生協 CSR レポート」は、こうち生協の事業や活動、組合員さんの社会貢献活動への参加を、「SDGs」の目標との関係で編集をさせていただきました。ぜひこのレポートを一読いただいて、今後のこうち生協の事業・活動に対してのご意見をいただければと思います。



代表理事 理事長 佐竹 一夫

持続可能な開発目標 SDGs

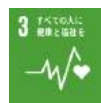
2015年に国連で採択された「誰も取り残さない」というSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。こうち生協は持続可能な社会の実現をめざし事業や活動を進めてまいります。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



飢餓をゼロに



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



すべての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



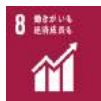
ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント（力をあたえること）を図る



すべての人々の水と衛生へのアクセスを確保する



手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する



レジリエント（強靱）なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



国内及び国家間の不平等を是正する



都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



持続可能な生産消費形態を確保する



気候変動及びその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



公正、平和かつ包摂的な社会を推進する



持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化させる

私たちは強靱な生活インフラとして 安心・安全な商品を 供給し続けます。

2020年春から全世界が新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、それまでの「あたりまえ」があたりまえではなくなりました。社会が変容するなか、こうち生協では感染症対策の徹底と、自粛生活において高まる宅配需要に対応するべく、経営と現場が一体となり事業継続に取り組んでいます。ここではその一部をご紹介します。

□ 体調管理の徹底

- 職員全員でマスク着用、手指消毒は勿論のこと、出勤前の検温を徹底して行い、体調管理に努めました。
- 事業所内では分散して就業するように工夫しました。
- 毎朝行う朝礼も、時間短縮や分散開催をするなど、工夫して行いました。



□ 共同購入事業での対策

■ 物量増加に対応

- 4月に緊急事態宣言が発令され、外出を自粛するようになったことから、食品や日用品の宅配需要が高まり、想定を大幅に上回るご注文を頂くようになりました。商品の調達が困難なものは、欠品等の対応を余儀なくされましたが、ホームページ等で迅速なお知らせに努めました。
- 受注数の増加により物流センターが飽和状態となり、商品のセット作業が追いつかず、応援の職員を投入して、何とか出荷に間に合わせる事もしばしばありました。
- 商品をお届けする際に使用する保冷箱やコンテナが不足し、組合員さんに早期の返却に御協力頂きました。



■ マスク着用での配送業務

- 猛暑となった夏の配送でも、配送先で人と対面する場合は、マスク着用を必須として取り組みました。そのために、配送職員には冷感マスクと空調ベストを支給し、職員への負担を軽減するよう努めました。



□店舗事業での対策

- レジとサービスカウンターに飛沫防止パーテーションを設置し、飛沫感染防止を徹底しています。
- レジでは間隔を空けて並んで頂くよう、床に案内のマークを設置しています。
- お買い物カゴを抗菌仕様のものに変更しました。



□新たなコミュニケーションツールの導入

- 一時は会議やミーティングも中止や縮小となってしまいましたが、ZOOMなどのオンライン会議システムを導入しました。
- 組織内の情報伝達を迅速化するため、全事業所にデジタルサイネージを導入し、視覚、聴覚に訴える情報発信を試みました。



□力を合わせてコロナに立ち向かう

- 今までに経験した事のない事態に、職員一同、一致団結して立ち向かえるよう、「がんばろう こうち生協」のムービーを作成し、お互いに激励し合いました。



□地域と連携して困難を乗り越える

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けた生産者を応援する地産地消の取組みに、こうち生協も賛同し、店舗と共同購入でキャンペーンを行いました。

- 感染症拡大防止のため高知県内の学校が休校となる中で、行き場を失くした学校給食用の牛乳を店舗で積極的に販売しました。
- 感染症拡大による飲食店の営業自粛の影響で出荷ができなくなり鮮魚が大量に余る事態となりました。それを受けこうち生協では宿毛産の龍馬鯛を仕入れて店舗で販売しました。
- 共同購入では高知県が行う「食べて！遊んで！高知家応援プロジェクト」に参加しました。



誰もが安心して くらし続けられる 地域社会づくりに参加します

こうち生協は、誰一人残さず安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。諸団体との連携を大切にしながら、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域のお役立ちを進めます。

関連する
SDGsの
目標



□ 行政・地域諸団体との連携



■ 地域を見守る取り組み

宅配事業の基盤を活用した「地域の見守り活動」は、配達の際に担当者が異変に気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に連絡を行うものです。



■ 災害時に早期支援を

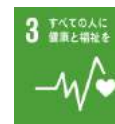
こうち生協は大規模災害等の発生時に自治体や他県の生協と相互に協力して住民生活の早期安定を図るため、食料・飲料水・生活必需品等の供給や事業の早期再開支援を行う協定を結んでいます。

data

□協定自治体/12 行政 □協定生協/5 生協 (2021年3月末時点)

■ 地域の団体との連携

こうち生協の「コープたんぽぽ」事務局を通じて高知市の生活支援体制の協議会に参加し、社会福祉協議会や地域主導の高齢者サポート事業との連携がはじまりました。



□ 災害復興支援

2020年7月には熊本県を中心に九州や中部地方などで発生した集中豪雨による被害が発生しました。こうち生協では募金活動などの災害復興支援に取り組んでいます。また東日本大震災などの被災地への支援を継続して行っています

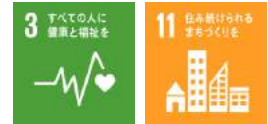
data

東日本大震災被災者支援募金 1,186,758 円

7月豪雨災害目的募金 3,704,486 円

□ 自助を養う活動

南海トラフ地震に備え自助を養う活動として、県内の各生協や行政諸団体の皆さんと防災・減災の学習の場をつくりました。



■ LPA で防災の学習会を開催

ライフプランアドバイザーの会では、くらしの助け合いの会「コープたんぽぽ」の会員を対象に、「いざという時、自分と家族を守るための防災セミナー」を開催しました。「100均でここまでそろう！持ち出し袋」など、日頃から防災意識を高めることを促す内容となっています。



□ 地域社会の課題解決を目指して

地域におけるくらしの困りごとへの支援活動に取り組んでいます。



■ 配食事業「夕食宅配」を実施

こうち生協ではカロリーと塩分を調整した日替わりの夕食をお届けしています。日々の定期的なお届けを通じ、高齢者の見守りにもつながっています。2020年から管理栄養士が監修し、カロリーや塩分に配慮した健康管理食の取り扱いをスタートしました。

data □ 一日当りの食数 / 1439食 (2021年3月末時点)



■ 高知大学医学部学生へ食材支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アルバイト収入の減少などから困窮している学生に、高知医療生協学生サポートセンターを通じて食材支援を行っています。県内の生協のお互いの得意分野で協力し、地域に貢献する事の大切さを再認識する活動で、今後も継続して協力する予定です。

□ 子育て支援

子育てしやすい地域社会をめざし子育て世代を応援しています。



■ 「子育てひろば」を毎週開催

コープよしだの組合員室で毎週開催。子育て中のお母さん同士の交流や情報交換、子育て経験のあるスタッフとの会話など、ゆっくり過ごせる場を提供しています。



data □ 開催回数 / 21回 □ 参加人数 / 親子でのべ188人 (2021年3月末時点)

□暮らしを見直す活動

組合員さんが学習できる場を創り、それらに関する情報提供を継続的に行っています。



■わたしのつばやきアンケートを実施

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、他者との交流が希薄となる中、組合員さん一人ひとりにご自身の暮らしを見つめ直していただく機会になればと、「わたしのつばやき～今思う事・今の話題」に関するアンケートを実施しました。



今年の春から上の子が小学生になります。今までと違った生活リズムに変わる事、宿題等も始まる事、親がきちんと見てあげる事ができるのか、色々心配事がつきません。まだまだコロナの不安もありますが心穏やかに過ごせることを願ってやみません。(アンケートより)

□宅配などの事業

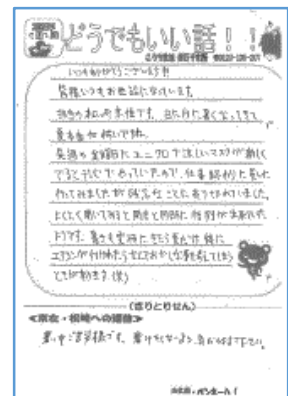
6か所の支所より高知県下全土に商品を配送しています。ご自宅の玄関先にお届けする個人宅配、ご近所のグループや職場にお届けする共同購入、またお店や各拠点で商品の受け取りなど、組合員さんのニーズに応じたお届けをしています。

data □宅配事業全体の供給高/99億7,978万円(1万円未満は切捨て)



■会えない組合員さんともコミュニケーションを

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で非対面での配送が増加しました。会えなくなった方ともコミュニケーションをとるため、担当者ニュースを発行するなどの工夫をしています。また、組合員さんからも担当者に宛てた励ましのメッセージが届くなど、商品をお届けするだけではなく、組合員さんとの絆を大切にしています。



▲担当者ニュース

■配送トラックのラッピングで安全運転の啓発を

配送トラック15台に安全運転の願いを込めて、職員の子供などが描いたイラストやメッセージをラッピングしました。ドライバーはもちろん、地域の皆さんにかわいいイラストを見て、改めて安全運転の大切さを感じて頂くことを目的とした活動です。



□店舗事業

日々の暮らしに役立つ商品を提供し、地域に喜ばれる買い場づくりを進めるとともに、地域や組合員活動の場を大切にしたい、ぬくもりのあるお店づくりをめざしています。



■お買い物バスの運行

お買い物バスは、来店が困難になった方を店舗まで送迎するサービスで、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年4月中旬から5月末まで1か月半の間運休しました。その後も1便の定員を減らすなどの工夫をして運行しています。

data □利用者数/のべ2,000人（2020年度実績）

買い物に行く手段が無くなり、タイミングよくバスを利用することができて本当に助かっています。
（登録組合員さんより）



■地域とともに

店舗の組合員活動室は、子育て広場・高齢者のつどい・子ども食堂・サークル活動など、地域の方が気軽に集まる場となっています。また、有難いことに勤労感謝の日に思いがけず近くの幼稚園の園児さんが歌とダンスをプレゼントしてくれました。



□共済事業

ケガや病気など暮らしの「もしもの時」に備えるCO・OP共済は、組合員さんの支えとなることをめざしています。2020年度も全事業所で年間目標を超過達成する事ができました。

data □加入件数 67,746件 □給付件数 8,876件 □共済保険給付者ありがとうの声 1,043件



■今知りたいことを伝える活動

LPA（ライフプランアドバイザー）の会では、大人から子どもを対象としてさまざまなセミナーや学習会を開催しました。2020年は感染対策のため、ZOOMを使用してオンラインでセミナーを開催しました。

data □組合員 LPA10人 □学習会開催 23回 □参加人数 483



■ 県内の園児にお祝いのプレゼント

2010年から始まった「ご入園・ご卒園プレゼント」は、毎年各園からご好評をいただき、2020年は153園・15,420人にプレゼントを贈ることができました。卒園児のみなさんにお届けしたコーすけのランドセルカバーは、新1年生となった登下校の際、地域における見守りの目印や事故の防止などに役立てられています。



■ 野球場の外野フェンス広告でスポーツ振興を

高知県より募集があり、高知県立春野総合運動公園内にある野球場の外野フェンス広告にこうち生協コープ共済も参加しました。この広告料のほとんどが高知県内の青少年スポーツ振興に当てられます。

昨年は夏の甲子園が中止となり、その代替えとして7月末に「2020 高知県高等学校夏季特別野球大会」が開催されました。原則無観客ではありましたが、この大会でお披露目することができました。



□ サービス事業

快適な暮らしづくりのお手伝いとなるよう、お困りごとへの相談やさまざまな安心できる提携を広げることで、よりよい暮らしへの貢献をめざしています。



■ コープ葬祭でいきいき終活セミナーを開催

安心できるシニアライフと穏やかなエンディングを考えるお手伝いとして、コープ葬祭では施設見学会や終活セミナーを行っています。

終活という言葉は何度となく聞いておりましたが、いざどのような事をし、どのように伝えておくのか判らなかつたのでとても参考になりました。終活ノートを記入し、娘（県外）とも話しをしようと思っております。特に石材振興会様のお墓の事、お手入れの事は身近な問題ですので、よく頭に入れてこれからのお墓参りの参考とさせて頂きたいと思いました。短時間でしたが人生最後の仕事と思って、日々頭の片隅においておきます。

（参加した組合員さんより）



持続可能な社会づくりをめざします

こうち生協は、「つくる責任」と「つかう責任」の循環をよりよくし、持続可能な社会づくりをめざします。限りある地球資源に思いを寄せ、商品の供給を進めます。

また、エシカル消費や持続可能な社会への理解を促進する広報や学習会に取り組んでいます。



産直・商品を通じた生産者とのつながり

こうち生協の産直は生産者と消費者がつながることによって安全・安心な商品を組合員さんに届けること、持続可能な農業と地域に貢献することをめざしています。



■ 地元の生産者さんとの交流

こうち生協創立 35 周年記念として、デザインも製造も地元企業に依頼して、メイド In 高知のオリジナルエコバッグを企画・販売しました。また、地元高知の生産者さんに協力頂き、高知生協オリジナルの「宗安寺きのこココロッケ」も企画・販売し、いずれの商品も、売上の一部を高知県内のコロナ対策事業に寄付させて頂きました。



コープ商品事業

全国の組合員の声を活かして日本生協連が開発し全国の生協に供給を行うコープ商品は、よりよい社会に向けて「地域」「環境」「社会」「人々」に配慮した消費行動＝エシカル消費に対応した商品づくりに取り組んでいます。



■ エシカル消費に対応した商品の取り扱い

商品が作られる背景を知り、自分で商品を選択し消費することで、くらしや社会がよりよくなることにつながるエシカル（倫理的な）消費の普及・啓発を進めています。

社会貢献寄付金付商品
(1品購入につき0.5円をWWF ジャパンに寄付)



▲「CO・OPセフターENERGY(エナジー)」
(本体・詰替え用パック)

持続可能な漁業で
獲られた水産物



▲「CO・OP無着色たらこ」

森と人を守る



▲「CO・OPカカオ
70%チョコレート」

■ コープ商品で子育て世代を応援

「きらきらステップ」乳幼児食シリーズを2017年から発売しています。冷凍素材を中心として離乳食・幼児食を手軽に手作りできる、また下ごしらえなしに必要な量をすぐ使うことのできる商品で、子育て世代の声を形にして応援しています。



▲「CO・OP国産野菜で作ったなめらかキューブ」

□ 廃棄物削減への取り組み

持続可能な社会づくりへの役割を果たし環境負荷軽減の一環として事業活動からの廃棄物の削減やリサイクル活動を行っています。

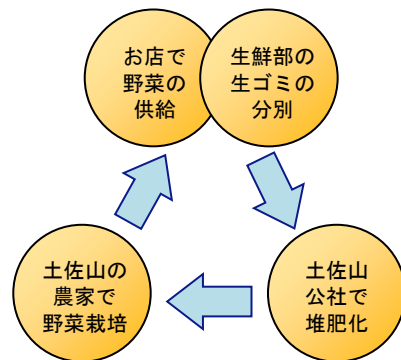


■ 自主回収・リサイクルの推進

リサイクル資源	廃プラスチック	生ゴミ	コピー紙 チラシ	段ボール	共同購入 注文書	共同購入 カタログ	牛乳パック	トレー
再生	固形燃料	堆肥	再生紙の原料					トレー
回収量 (kg)	22,966	60,060	11,658	490,858	27,065	1,781,070	12,110	1,604

■ 食品廃棄物の削減

店舗では生鮮の加工くずなどを収集し、堆肥化するリサイクル活動に参加しています。店内で出る野菜くずや魚のあら、また賞味期限が過ぎ廃棄となる食品などは、(財)夢産地土佐山開発公社が製造する堆肥の原料の一部として使用されています。できあがった堆肥はこの地区の農業に使われ、栽培された産直野菜や堆肥をこうち生協の店舗で販売しています。こうした「循環型農業」を応援しています。



■ レジ袋有料化

2020年7月からレジ袋を有料化した結果、レジ袋の辞退率が一時は80%まで上昇しました。

また、店舗で販売するレジ袋はバイオマス原料を25%以上使用して生産されたもの採用しています。

2020年7月1日(水)から
レジ袋有料化
スタートします

Plastic bags will be available for a fee from July 1, 2020.

- レジ袋をご希望の方には(大サイズ1枚5円・中サイズ1枚3円)で販売する予定です。
- レジ袋の有料化にともない、レジ袋ご辞退時に実施してありました(2円引きサービス)を、6月30日(火)をもちまして終了させていただきます。

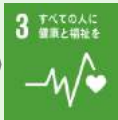


お買い物袋のご持参に
ご理解とご協力を



健康づくりの取り組みを広げ 助け合い活動を進めます

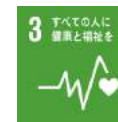
関連する
SDGs の
目標



あらゆる年齢の人々が地域でいきいきと住み続けられるための健康づくりを食や運動、助け合い活動などの組合員活動を通じて進めています。

□ 福祉・助け合い

こうち生協は組合員さん同士が助け合いの心を大事に活動できる場をつくるとともに、その輪が広がることをめざした活動を行っています。



■ 暮らしの助け合いの会コープたんぽぽ

「困った時はお互いさま」の気持ちを大切にする組合員同士の援助活動です。誰もが住み慣れた地域で安心してくらすよう、家事援助や病院等の付き添い・話し相手・産後の援助など幅広い活動を行っています。



日頃は大変お世話になっております。感謝の一言です。本当に有難う存じます。

コロナの時代でも、出来る限りのサービスが受けられる事の有難さをつくづく感じる今日この頃です。季節の変わり目に、何かとこれからもお世話をかけることと思います。病気が上りの為、落ち着いたらまたよろしくお願ひ申し上げます。
(利用会員さんより)

■ 毎週の商品カタログを声でお届け

目の不自由な方へ、こうち生協の商品カタログの掲載内容を読み上げた音声 CD を、登録組合員さんに毎週お届けしました。CD の製作には 6 人の組合員録音メンバーが毎週収録を行っています。

data □登録組合員数/19人(2021年3月末時点)



■ みんなが集まれる場

高齢者、小さなお子さんを持つ方、障がいのある方、どんな方でも気軽に集まり交流できる場を提供する事を目的に活動しています。新型コロナウイルス感染症の拡大時期を除き、毎週開催し、いきいき百歳体操を行っています。



平和な社会を めざす活動を進めます

関連する
SDGs の
目標



私たちは、平和の実現をめざす取り組みを進めます。次の世代に戦争体験を継承するなど、平和な社会の実現に積極的に貢献します。

□ 平和活動

こうち生協の理念「健康と子どもたちの未来のために」の中には家族が健康で平和な生活をおくることができるようという願いが込められています。創立以来、平和について考え学習するさまざまな取り組みを継続しています。

■ ピースカンパの呼びかけ

平和の活動を支えるピースカンパは、2020 年度 555,100 円の募金が集まりました。これをもとにさまざまな取り組みが進められています。



▲2020 年は過去に開催した被爆ピアノコンサートの様子を YouTube で映像配信しました。

■ 平和への思いを折り鶴に

高知県内の各団体による平和のための企画「ピースウェイブ」にこうち生協も参加しています。7 月に開催される平和七夕まつりには、高知空襲の被害が一番ひどかったといわれる高知市京町・新京橋のアーケードなどに高知空襲で亡くなった方たちへの鎮魂と平和への願いを込めて折り鶴の吹き流しを飾ります。今年も多くの組合員さんから折り鶴が集まりました。



■ 映画「おかあさんの被爆ピアノ」無料上映会開催

2021 年 2 月に高知県民文化ホール・グリーンホールにて、高知県生協連の共催のもと、こうち生協創立 35 周年記念映画「おかあさんの被爆ピアノ」無料上映会を開催しました。午前、午後の 2 回上映で、トータル 228 名の来場者となり、多くの方に被爆ピアノの存在を知って頂く機会となりました。



地球温暖化対策を 推進します

関連する
SDGs の
目標



持続可能な社会をめざし温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)の実現に向け取り組みます。

□ 環境活動

組合員さんや地域社会とともに持続可能な社会をめざし温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。

■ 地球温暖化防止会議への参加

高知県が行う「高知県地球温暖化防止県民会議」に登録し、さまざまな取り組みに参加しています。

「マイバッグキャンペーン」の期間中は県内の量販店と協力して啓発を強化しています。こうち生協ではレジ袋の削減枚数をお店に掲示して買い物袋の持参を呼びかけました。

高知県地球温暖化防止県民会議総会での感謝状贈呈式

■ 小学生の電車・バスに乗る体験を応援

県民会議が温暖化防止活動の一環として取り組む「交通エコポイント活用社会還元事業（ですかでゴー）」に賛同し、寄付協力をしています。この事業は県内の小学校を対象に、公共交通を無償で利用してもらう取り組みで、マイカーの利用に比べて温暖化ガス排出の少ない路面電車やバスに乗り校外学習に出かける体験の支援となっています。



■ 再生可能エネルギーの取り組み

2003年5月より市民共同の太陽光発電設備が店舗（コープよしだ店）の屋根で稼働しています。これは県内外の市民有志が共同出資し、こうち生協が屋根を提供しているものです。発電量は生協が買い取り店舗で使用しています。また2014年に商品センター、2015年に中央支所・須崎支所の屋根にそれぞれ太陽光発電設備を設置しています。2020年度の発電容量は565,396kWhでした。



多様な人々が 共生できる 社会づくりを推進します

関連する
SDGs の
目標



地域活動を通じ、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現をめざします。

□ 多様な人材が働く元気な組織に

組合員さんのお役にたち、職員が元気に働き続けられるような組織風土づくりを進めています。お互いの仕事から学び合える研修や学習を実施しています。また、やりがいを持って働き続けられる環境づくりのひとつとして専任職員や正規職員への登用制度を実施しています。

■ 安全防衛運転の取り組み

安全防衛運転推進スタッフを配置し、こうち生協で働く全ての職員が安全な運転を使命と受けとめ、第一優先課題として実践できるよう取り組んでいます。新人研修や、新たにスタートしたリーダー研修、入協 2~4 年時研修など安全防衛運転の取り組みを進めています。



■ 障がいのある方の働く場づくり

こうち生協の特例子会社(株)ハートフルコープこうちでは、障がいのある方の雇用を積極的に進めています。



data □雇用人数 13 人 (2021 年 3 月末時点 特例子会社含む)

■ 職員のチャレンジ精神を応援

2014 年より定時職員から専任職員へ、専任職員から正規職員への登用を始めました。職員の成長と働きがいを促し、活力のある職場づくりを進めています。

data □2020 年登用実績
正規職員登用/3 人
専任職員登用/7 人



■ 定年後も経験とスキルを活かせる環境を

60 歳定年(再雇用)を迎える職員が、最長 65 歳まで働けるように定年後再雇用制度を設けています。

data □2020 年再雇用実績 3 人



組織の概況について

■名称:こうち生活協同組合 ■代表理事 理事長:佐竹 一夫

■創立:1985年11月18日

■事業所一覧

事業所名		所在地	のべ床面積
本部事務所		高知市薊野中町 16-8	601 m ²
共同購入 配送支所	中央支所	高知市南河ノ瀬町 156	2,015 m ²
	東支所	高知市大津乙 916-1	952 m ²
	安芸支所	安芸市津久茂町 11-8	687 m ²
	須崎支所	須崎市桐間東 46	779 m ²
	四万十支所	四万十市具同 6242	952 m ²
	南国支所	南国市篠原 1784-1	872 m ²
店舗	コープよしだ	高知市吉田町 6-6	1,778 m ²
	コープかもべ	高知市鴨部 2 丁目 4-43	2,213 m ²
商品センター		南国市三和琴平 1-1743-12	4,417 m ²

■主な事業内容

消費生活協同組合法に基づいた生活協同組合で、協同互助の精神に基づき、組合員の生活の文化的経済的改善向上をはかることを目的としています。

事業種目	主な事業品目
供給事業	農産、水産、畜産、日配品、加工食品、菓子、パン、卵、冷凍食品、日用雑貨、衣料品、配食サービス、その他
受託共済事業	CO・OP 共済《たすけあい》《あいびらす》、終身共済、火災共済
サービス事業	各種チケット、住宅新築・改築、布団クリーニング、エアコンクリーニング、ギフト、書籍、葬祭事業、引越、その他
その他	提携サービス等

■事業概況

組合員数	102,403人
（内訳）共同購入	（73,046人）
店 舗	（29,357人）
事業高（供給高）	121億2,107万円
（内訳）共同購入	（99億7,978万円）
店 舗	（20億1,229万円）
サービス	（1億2,899万円）
出資金	42億5,808万円

※1万円未満は切り捨て

※2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)集計



CSRレポート

2021

こうち生活協同組合

〒781-0013 高知県高知市薊野中町 16-8

TEL : 088-826-5211 FAX : 088-826-5252



<http://www.kochicoop.or.jp/>

こうち生協

